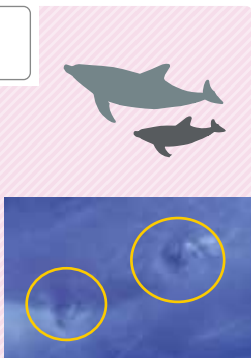


## 小笠原で暮らすイルカたち～今年も妊娠・出産シーズン到来！～

ミナミハンドウイルカが新生児を連れていたり、お腹が大きく膨らんでいたりする様子が見られる季節となりました。今年はどうな赤ちゃんたちが生まれてくるのか楽しみです！今号では、今年出産した個体や、妊娠中と思われるお腹が膨らんでいる個体をご紹介します。イルカたちが安心して子育てできるように、海で出会ったら優しく見守ってあげたいですね。

## 出産

#266 EYE (♀) 観察歴：2010年～  
確認海域：聳島列島、父島列島



初めて出産が確認された個体です。名前の由来は、体の右側に目のように見える2つのダルマガメによる傷跡があることです。2024年5月3日にお腹が膨らんでいる姿が観察されており、2024年6月17日に新生児を連れてくる様子が見られました。

## 妊娠中

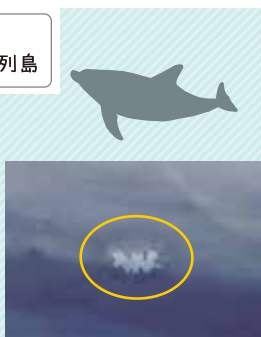
#19 スポッティー (♀) 観察歴：2003年～  
確認海域：父島列島



これまで4度の出産経験がある個体。左の眼の上に「10」の形をした大きな白斑があり、遠くからでも容易に識別することができます。2024年7月15日に撮影された写真にはお腹が大きく膨らんでいる姿が写っており、妊娠中と思われます。2021年の夏に出産した子どもの#385 (ビヘイブ) は約3年で親離れしたことが確認されました。

## 妊娠中

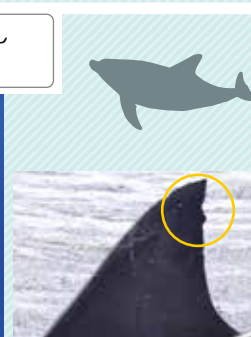
#287 TATOO (♀) 観察歴：2004年～  
確認海域：聳島列島、父島列島、母島列島



過去にも出産経験のある個体。2020年以前に誕生したと思われる#366 (パチメ) の母親です。左体側の後方にタトゥーのような目立つ白斑があるのが名前の由来です。2024年7月2日には、お腹が大きく膨らんでいる姿が観察されています。

## 妊娠中

#303 シャープ (♀) 観察歴：2015年～  
確認海域：聳島列島



過去にも出産経験のある個体。背ビレがとがっていることと、右側の胸びれに白斑があるのが特徴です。2024年6月16日には、お腹が大きく膨らんでいる姿が観察されています。2020年の夏に出産した子どもの#400 (クロイチ) は、約4年で親離れしたことが確認されました。

写真提供：●打込 みゆき ★江口 博美

## ハシナガイルカの新生児を連れてきたミナミハンドウイルカ

今夏も、ミナミハンドウイルカによるハシナガイルカ新生児の同伴行動が報告されました。2024年7月20日に父島海域において報告されたのは、出産経験のないメスのイルカ、#307 (山ちゃん) によるものでした。この個体は昨年度もハシナガの新生児を連れており、2年連続での確認となります。今後も同様の事例を見かけた方は、ぜひOWAまでお知らせいただけますと幸いです。



写真提供：Ocean Magic 撮影者：中條 彩乃